

平成30年9月28日

島田市議会議長 大石 節雄 様

議会改革に関する特別委員会
委員長 伊 藤 孝

議会改革に関する調査研究について（報告）

調査した事件の経過について、委員会条例第36条の規定により、別紙のとおり報告します。

記

- 1 調査事件 議会基本条例に基づく、議会の機能強化等に関する調査・研究
- 2 調査結果 別紙報告書のとおり

議会改革に関する調査研究について
(議会改革に関する特別委員会最終報告書)

1 調査経過

第1回	平成29年7月11日	委員長、副委員長の互選
第2回	平成29年8月4日	委員会の進め方について
第3回	平成29年8月29日	正・副議長選挙立候補制における所信表明について、島田市議会の会議における情報通信機器等の使用基準(案)について
第4回	平成29年9月21日	島田市議会の会議における情報通信機器等の使用基準(案)について、予算・決算の審査体制について
第5回	平成29年10月25日	島田市議会における情報通信機器の使用基準について
第6回	平成29年11月22日	「議会と語る会(第2回議会報告会)」について
第7回	平成29年12月19日	島田市議会におけるICT機器の使用のアンケートについて、情報通信機器の利用状況についての議員へのアンケートについて
第8回	平成30年2月16日	市議会2月定例会におけるICT機器の使用(試行)について、「議会と語る会」について
第9回	平成30年2月20日	「議会と語る会」について
第10回	平成30年3月15日	「議会と語る会」について、中間報告について
第11回	平成30年7月31日	ペーパーレス会議システム研修について
第12回	平成30年9月12日	ペーパーレス会議システム研修について、最終報告について

2 調査の報告

当議会改革に関する特別委員会は、平成29年7月11日の設置以降、委員会を12回開催した。この間、平成30年3月27日には本会議で中間報告を行った。調査の概要は次のとおり。

第1回<平成29年7月11日>

省略

第2回<平成29年8月4日>

委員会の進め方について、議長からの諮問された通年議会の導入、予算・決算特別委員会の設置、ICT機器の導入、議会基本条例の見直し、議会報告会のあり方、正・副議長立候補制の検証と過去3年の議会改革に関する特別委員会での提言を参考に、本委員会で議題として取り上げる内容等の洗い出しを行った。

委員間討議の結果、まず、正・副議長選挙の立候補制についての検証、ICT機器の導入を議題とし、次に通年議会の導入、予算・決算特別委員会の設置及び議会報告会の開催

方法等の検討を行うことを決めた。

第3回<平成29年8月29日>

第3回の委員会では、島田市議会議長及び副議長の選出に関する申し合わせに沿って、平成29年5月29日に行われた正・副議長立候補者による所信表明会を検証した。

地方自治法を尊重しつつ、申し合わせ事項に基づいて、今後も実施していくことを確認した。

ICT機器の導入については、昨年度、特別委員会が作成した島田市議会の会議における情報通信機器等の使用基準の再検討を行った。内容を検討し条文の整理を行い、使用する場合は、議長に届出書を提出することとした。

第4回<平成29年9月21日>

第4回の委員会では、ICT機器の使用について、当局と意見交換を行い、議会の会議において議員個人の情報通信機器を使用することについて、支障がないことの確認がされた。

また、前回の委員会に引き続き使用基準の再検討を行い、条文の整理を行った。

この作業と同時に、予算・決算の審査体制に関して、岐阜県可児市の予算・決算の審査を例に、定例会の日程や審査サイクルを議論していくこととした。

この委員会において、これまで検討を重ねた島田市議会における情報通信機器の使用基準（案）をもとに、11月定例会及び平成30年2月定例会において試行で運用する案を議長に提出することとした。

第5回<平成29年10月25日>

第5回の委員会では、11月定例会での情報通信機器の使用の試行運用を行うに当たり、アンケート内容の検討を行った。

また、議長から議会報告会のあり方を検証するよう依頼があり、11月18日と25日に行われる「議会と語る会」の検証を行う旨の確認をした。

第6回<平成29年11月22日>

第6回の委員会では、まずは、11月18日に開催された「議会と語る会（第2回議会報告会）」について検証を行った。

各会場に参加した委員による会場の参加人数、会議内容の報告を行った後、検証に入った。今までの議会だよりをもとに行う報告会的な開催よりは、今回のような開催地区に合ったテーマを設定し、来場者との意見交換を重視する方法で継続していったらどうか、また、金谷町の合併を経て、川根町との合併も10年になろうとしているため、島田地区、金谷地区及び川根地区において開催することに、必ずしもこだわらなくていいのではないかとの意見が出された。

第7回<平成29年12月19日>

第7回の委員会では、傍聴者に対して行った情報通信機器の利用状況アンケート結果について検証を行った。傍聴者へのアンケートでは、ICT機器の使用について、大方の理解をいただいていることが分かり、市民以外にも議員へのアンケートが必要との判断から、各議員に対しアンケートを実施することとした。

その他としては、タブレットを使用するためにWi-Fiを使える環境を整備してほしいといった意見が出された。また、ペーパーレス会議導入のため、全議員による研修の必要性についても確認し、今後、研修を計画する方向で調整することとした。

第8回<平成30年2月16日>

第8回の委員会では、2月定例会でもICT機器の使用を続ける上において、傍聴者のアンケート内容にICT機器を使用している議員の確認がしにくいとの記述があったことから、ICT機器利用届を出している議員を表示することとした。

また、「議会と語る会（第2回議会報告会）」について検証し、今後は、意見交換を主に、具体的なテーマを決めて地域に出向く、今回の方法を続けたらどうかといった意見や女性や若い人たちが参加しやすいような開催を求める意見が出された。最後に、議長から、「議会報告会で得られた意見及び情報の取り扱い」に関する案が示され、議会報告会で出された内容を政策提言につなげる流れについて、会派などの意見を踏まえ、次回の協議とすることとした。

第9回<平成30年2月20日>

第9回の委員会では、議会報告会の流れにおける政策提言に関しての議長案をもとに意見を出し合った。委員からは、事後検討会を終えた後の、「（仮称）議会報告代表者会議」を設置したらどうか。また、政策提言につなげるまでには時間もかかることから、年2回の開催を基本のサイクルとして想定したらどうか。政策提言に関しては、その回答を当局に求めたいといった意見などが出された。

第10回<平成30年3月15日>

第10回の委員会では、第9回で協議した議会報告会の流れにおける政策提言に関しての流れを再検討した。まずは、先に行われた「議会と語る会（第2回議会報告会）」で出された意見を早急に検討するためにも、事後検討会は既存の組織で運用していくこととし、事後検討会後に重要案件とした事項について、正・副議長、正・副議運委員長によって確認する場を持ち、議会運営委員会に諮ることとした。また、当局側からの回答は必ずしも求めるものではないことを確認した。議会報告会の開催回数については、「島田地区、金谷地区及び川根地区において」という規程中の文言を外し、年2回以上開催するものとする規定を提案することとした。なお、この協議に当たって、義務的に開催回数を規定で定めるのではなく、より多くの市民との意見交換が重要であることを議員各自が意識し、回数や会場設定の工夫をすべきといった意見が出された。

第11回<平成30年7月31日>

市議会6月定例会最終日において、大石節雄委員が当特別委員会委員を辞任し、福田正男議員が新たに委員として選任された。

第11回の委員会では、中間報告で提言しているペーパーレス会議システムを使ったタブレット研修について、実際に研修会を行い、どのような利点や問題点があるかを検証するということで意見がまとまり、研修に使うシステムは、全国の議会で110以上の実績がある東京インタープレイ株式会社のSideBooksとし、また、同時にアンケート調査を行うことを決めた。

第12回<平成30年9月12日>

第12回の委員会では、8月24日のペーパーレス会議システムを使ったタブレット研修について、全議員に対して行ったアンケートをもとに検証を行った。実際に多くの自治体で採用されているシステムを体験することで活用のイメージができ、導入への不安が減ったという意見がほとんどであった。また、他のシステムも確認するため、引き続き研修を望む意見が多く、今後も研修会等の実施を提案することに決まった。

3 まとめ

当委員会は、平成29年2月定例会で調査終了した、前「議会改革に関する特別委員会」が提言した内容や課題として挙げた事項など、議会の機能強化に関する事項について、さらなる調査・研究を行った。委員会では、正・副議長の選出方法についての検証、情報通信機器の使用について、議会報告会のあり方について、またペーパーレス会議システムについての調査・研究を行った。

議員個人が所有する情報通信機器の使用に関しては、平成29年9月25日に「島田市議会における情報通信機器の使用基準（案）」とともに、平成29年11月定例会及び平成30年2月定例会において試行で実施する案を議長に提出した。試行に当たり、その検証のために傍聴者及び議員に対しアンケートを実施した。アンケートの結果、ICT機器使用に関して一定の理解が得られたものであったため、特別委員会としては、試行で運用した「島田市議会における情報通信機器の使用基準」をもとに平成30年6月定例会からの本運用を提言し、6月定例会から実施されることとなった。

「議会と語る会（第2回議会報告会）」について、平成29年11月18日と25日に開催した第2回の議会報告会は、市民との意見交換をメインに「議会と語る会」と題して市内6カ所で開催した。議長から、その検証と政策提言までの流れについてを取りまとめるよう諮問されたため、委員会で協議した。議会報告会を行った後の政策提言までの流れについては、別紙「議会報告会で得られた意見及び情報等の取り扱いについて（イメージ）」のとおりと決まり、現在、3常任委員会でそれぞれのテーマに沿って審議が進められている。また、平成30年度以降に開催される議会報告会について、特に地区を限定せず柔軟に開催するため、改正内容を「議会報告会は、年2回以上開催するものとする。」とし、平成30年8月31日に施行された。

ペーパーレス会議システムについて、同システムの導入を検討するに当たり研修会の実施を提案し、全議員を対象とした研修会を開催することができた。アンケートも同時に行い、導入に前向きな意見を多く得ることができた。このほか当委員会では、予算・

決算特別委員会の事例研究も行った。

委員会での主な取り組みは以上のとおりであるが、今後、実施や検討していただきたいものについて、次のとおり提案する。

(1) ペーパーレス会議システム研修の実施について

市役所新庁舎完成時でのペーパーレス会議システム等の本格運用を目指し、引き続き調査・研究を進めるとともに、今後も導入に向けての研修会を実施していくこと。

(2) 予算・決算審査体制の検討について

常任委員会における予算・決算体制について、今後、議会としての審査能力を高めるため、さらなる調査・研究を進めていくこと。